

学校評議員会議事録

日 時	令和 元年11月 7日 (木) 10時00分 ~ 12時00分	
会 場	北海道白糠養護学校 会議室	
出 席 者	学校評議員 5名	学校側 5名
出席者名	細 川 和 則 竹ヶ原 浩 司 森 下 智 之 小 淵 隆 司 田 嶋 宏 祥	菅 原 康 之 後 藤 裕 志 小・中・高 各学部主事
校長が意見を求めた事項	内 容	
本校教育活動全般並びに各学部における取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ・先日の学習発表会を鑑賞したうえで、今日の各学部からの説明を聞き、普段の学習の積み重ねの成果が個々の子どもたちに現れていると納得した。 ・年間指導計画の共有が大切だということがよく分かった。それによって学部間の引継等もうまくいくと思うので、今後も継続して行ってほしい。 ・どの特別支援学校も各教科・活動等での繋がりがあことは分かっているが、現実に行うのは難しいことである。本校では、「教科横断的な取り組み」を年間指導計画で示し、各教科の繋がりのある授業をしている。生活の豊かさにも繋がる学習にしてほしい。 ・「授業改善シート」を活用して子どもの事を先生同士で語り合うことは大切なことで、会議の時間を作らなくても授業後の片付け時間等を使って手軽に語り合える工夫はとても良い。働き方改革にも繋がっていると感じた。 ・コミュニケーションについて、子どもからの自発的発信が弱いということ特別支援教育の中では考えていかなければならない。子どもには「意見を聞いてもらう権利」があり、自発的なものを引き出すことが大切である。本校では、子どものコミュニケーション力が高まってきているのは、教師が子どもの発信を受け止めきちんと返しているからだと思う。 	
上記のとおり会議を開催した。		
令和 元年11月 7日 北海道白糠養護学校長 菅 原 康 之		

*別の様式により意見聴取の内容を整理している場合には、それを添付し保管すること。

*配付資料などを添付し保管すること。